

古楽は、もっと自由で、もっとおいしくていい。

今年は、四国の四つの県と、四つの季節をピザにのせて、
イタリア古楽を焼き上げます。
知らない音楽に出会ったり、
聴いたことのない楽器の音に耳を澄ませたり、
いつもの日常から少しだけ飛び出してみたり。
音楽もピザも、みんなで囲めばきっともっと楽しい。
そんな4日間を、今年も高松からお届けします。

たかまつ国際古楽祭芸術監督 柴田俊幸

Access ※各会場の詳しいアクセス情報を古楽祭公式サイトでご案内しています

●高松	
高松市美術館	高松市紺屋町10-4 (JR 高松駅から徒歩15分/ことでん片原町駅から徒歩10分)
たかすの杜 蓮のうてな	高松市今新町1-6 (JR 高松駅から徒歩17分/ことでん片原町駅から徒歩7分)
玉藻公園 桜御門	高松市玉藻町2-1 (JR高松駅から徒歩5分/ことでん高松築港駅から徒歩2分)
穴吹学園ホール(旧 高松テルサ)	高松市屋島西町2366-1 セとうち観光専門職短期大学内(ことでんバス屋島大橋線「セとうち観光専門職短大」バス停下車すぐ)
PINEAPPLE HOUSE	高松市内町1-1 土居ビル2F (JR高松駅から徒歩7分/ことでん片原町駅から徒歩6分)
サンポートホール高松	高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー・ホール棟 (JR高松駅から徒歩3分/ことでん高松築港駅から徒歩5分)
Knocking kitchen (ノッキング・キッチン)	高松市藤塚町3-5-19 ミカサビル 1F (ことでん瓦町駅から徒歩8分)
●直島	
直島ホール(直島町民会館)	香川県直島町696-1 (高松港よりフェリー 50分 or 高速旅客船30分/宮浦港からバス5分)

Knocking kitchen
(ノッキング・キッチン)
に食ふにきて!



●たかまつ国際古楽祭 Peatixページ(電子チケット)[全公演] <https://musica-antiqua.peatix.com>

●香川県内お取り扱いプレイガイド[公演4のみ]

◎穴吹学園ホール 087-844-3511
◎レクザムホール(香川県県民ホール) サービスセンター(小ホール棟1階) 087-823-5023
◎楽器堂 OPUSイオンモール高松店 087-832-8016
◎ハイスタッフホール(観音寺市民会館) 0875-23-7600
※それぞれの拠点での販売枚数には限りがございます。予めご了承ください。

●電話予約
[公演2のみ] たかすの杜 蓮のうてな 087-821-6341
[関連イベントのみ] Knocking kitchen 087-837-8181

●公開マスタークラス受講希望者は下記までメールにてお申し込みください。

takamatsu.kogaku@gmail.com 10月1日(木)より受付開始・先着順(聴講希望者は現地で現金にて聴講料をお支払いください。)

*チケットはすべて税込価格となります。*お客様都合によるチケットのキャンセルは承っておりません。



Peatix



寄付のお願い

たかまつ国際古楽祭は2017年の誕生以来、地域に古楽を広めることを目指し、
手頃なチケット価格でさまざまな公演を提供してきました。
今年はガラ・コンサートにおいて20歳以下を無料とし、
近隣の島々では地元の小学生を招待する取り組みも行なっています。
しかし今年度は、これまで音楽祭の運営を支えてきた助成金に採択されず、
海外アーティストの渡航費をはじめ運営費用の負担は大きくなっています。
これまで大切にしてきた活動を継続していくためには、
皆さまからのご寄付によるご支援がこれまで以上に重要となっています。
古楽祭を次の世代へつなぐために、あたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

寄付の詳細や
お手続き方法はこちら
リターン付きのプランも
ご用意しております



公式HP



@Setouchi_Kogaku



@MusicaAntiquaTakamatsu

主催・お問い合わせ

たかまつ国際古楽祭実行委員会

tel 080-5665-7050

mail takamatsu.kogaku@gmail.com

web <https://mafestivaltakamatsu.com>

『第9回』たかまつ国際古楽祭

かがわ文化芸術祭2026参加公演

ベルギー・フランダース政府、フィンランド文化財団 助成事業



四国と四季のピザ祭り



イタリア古楽、
焼き上がり
ました!!

2026

10.30金 ~ 11.2月

穴吹学園ホール(旧 高松テルサ) / 直島ホール / たかすの杜 / 高松市美術館 / 玉藻公園 ほか

共催: 高松市(高松市内の公演) / 穴吹学園ホール(ガラ・コンサート)

協賛: ジェリーズポップコーンSP/たかすの杜

後援: フィンランド大使館 ベルギー大使館

高松市教育委員会/直島町教育委員会/朝日新聞高松総局/産経新聞社/山陽新聞社/四国新聞社/毎日新聞高松支局/読売新聞高松総局/RSK山陽放送/RNC西日本放送/OHK岡山放送/KSB瀬戸内海放送/TSCテレビせとうち/KBN/CMSケーブルメディア四国/CVC中讃テレビ/MCB三豊ケーブルテレビ/FM香川/FM815/高松リビング新聞社/ナイスタウン

協力: クラウサン工房アタチ/Space 415

主催・企画制作: たかまつ国際古楽祭実行委員会



10.30

金

昼うどんの前に、昼古楽

公演1

美術館オープニングアクト

12:15~12:45 高松 高松市美術館 エントランスホール

出演 | アモール・セウ (中世アンサンブル)

曲目 | 中世イタリア音楽などを演奏

TICKET: 入場無料

10.31

土

森と一緒に聴く、極上の古楽

公演2

古楽の森 ~ 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

14:00 (開場 13:30)~15:00 高松 たかすの杜 蓮のうてな

出演 | アン・クノッ (ヴァイオリン)

曲目 | ヨハン・ゼバスティアン・バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ より

ハインリヒ・ビーバー: 《ロザリオのソナタ》より パッサカリア ト短調 ほか

TICKET: 一般4,000円

玉藻城を攻略せよ! 待ち構えるはルネサンスの強者たち

公演3

城古楽! in 玉藻公園 ~ ドゥルツィアン・アンサンブル

16:00~16:25 高松 玉藻公園 桜御門

出演 | 長谷川太郎 (ドゥルツィアン) ほか

曲目 | ティールマン・スザート: 《ダンスリー》より 抜粋

ビエール・サンドラン: 甘き思い出 ほか

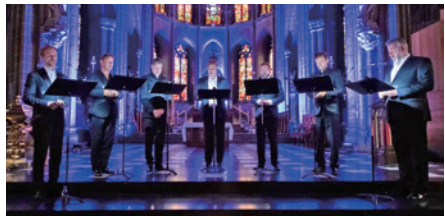
TICKET: 入園料: 一般300円 18歳未満無料

Performers



アモール・セウ
(中世アンサンブル)
Amor Céu
アイノ・ベルトマー
(声楽、中世ハープ、打楽器)
アンナ・マリーア・オラモ
(声楽、クラヴィシンバルム)
エイラ・カールソン
(声楽、中世フィドル)

フィンランドを拠点とする声楽・器楽アンサンブル。中世初期の音楽を中心に、オルガナムや初期ポリフォニー、歴史的知識のもとで即興演奏を探究している。メンバーの3人はいずれもヨーロッパの古楽界で国際的に活躍する演奏家であり、Amor Céuは各地の主要な古楽フェスティバルに出演を重ねている。



ディオニュソス・ナウ! (ポリフォニー・アンサンブル)
Dionysos Now!

カウンターテナー: フィリップ・ダメチェク、フランチ・ヴィッツトゥム
テノール: ベルント・オリヴァー・フレイリヒ、ヤン・ペトリカ、
トーレ・トム・デニス (芸術監督)

バス・バリトン: ティム・スコット・ホワイトリー

バス: ヨアヒム・ヘーホバウアー

ベルギーのテノール歌手トーレ・トム・デニスを芸術監督として2020年に結成された声楽アンサンブル。メンバーはタリス・スコーラズやコレギウム・ヴォカレー・ヘントなど国際的アンサンブルでの経験を共有し、その集積が独自の音色と緊密な声の対話を生み出す。フランドル・ルネサンスのポリフォニーを「過去の遺産」ではなく、現代に響く生きた芸術として再創造することを目指している。

アン・クノッ (ヴァイオリン) **Ann Cnop**
ベルギー出身のヴァイオリニスト、音楽博士 (PhD)、ル・パヴィヨン・ド・ミュージクの創設者・芸術監督。ラ・プティット・バンド、イル・フォンダメントやスケルツィ・ムジカーリのコンサートマスターも務めるなど、ソリスト・室内楽奏者・オーケストラ奏者として幅広く活躍している。

濱田芳通 (リコーダー、コルネット)

Yoshimichi Hamada

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学 (現東京音楽大学) の創立者を曾祖父に持ち、音楽一家の4代目として東京に生まれる。リコーダーとコルネットのヴィルトゥオーゾとして国内外で活躍。古楽アンサンブル、アントネッロ主宰。第7回ホテルオークラ音楽賞、第50回ENEOS音楽賞、第53回サントリー音楽賞ほか、受賞。

出口実祈 (ヴァイオリン) **Minori Deguchi**

桐朋学園大学、東京藝術大学大学院を経て、フランス国立リヨン高等音楽院修士課程を卒業。フランスを拠点に、レ・タラン・リリク、ル・ボエム・アルモニークなど著名な古楽団体に参加。国際古楽コンクール (山梨) 第2位、ボンポルティ国際古楽コンクール第1位および聴衆賞、ブルージュ国際古楽コンクール奨励賞を受賞。

大橋麗実 (ヴィオラ) **Reimi Ohashi**

同志社女子大学を卒業後渡仏。ポワティエ大学音楽学学科修士課程修了。サン・モーリス・デ・フォッセ地方音楽院にてバロック・ヴァイオリン、バロック・ヴィオラを学び最優秀の成績で修了。ヴェルサイユ地方音楽院にて研鑽を重ねる。現在、レミマリデュオ、Quartet Noonのメンバーとして各地で演奏活動を行なう。

長谷川太郎 (ドゥルツィアン)

Taro Hasegawa

東京藝術大学卒業。パリ国立地方音楽院古楽科を最優秀にて修了。フランス国営放送やヴェルサイユ宮殿等でコンサートや録音に参加。帰国後に東京にて日本初となるドゥルツィアンのリサイタルを開催。現在は国内外の古楽団体や音楽祭にゲストやソリストとして出演。500年に渡る歴史的ファゴットを駆使した演奏企画を行なう。

布施砂丘彦 (ヴィオローネ)

Sakuhiko Fuse

演奏、批評、公演の企画・制作や舞台作品の演出などを行なう。演奏家としてはコントラバスでのプロオーケストラへの首席客演、実験音楽の演奏、即興パフォーマンスなどを行なうほか、古楽器の演奏もしており、2021年からアントネッロおよびバッハ・コレギウム・ジャパンに参加。多様なサイズ、調弦のヴィオローネを演奏する。

竹岡幸平 (チェンバロ、オルガン)

Kohei Takeoka

山形県新庄市出身のチェンバロ・オルガン奏者。東京藝術大学卒業後、ミラノ市立音楽院で研鑽を積み、2024年第4回ミラノ国際チェンバロコンクール優勝。欧州各地でソロ・アンサンブル奏者として活動。2026年10月よりザルツブルク・モーツァルテウム大学でコロリアン・ビルサクに師事。

中山美紀 (ソプラノ) **Miki Nakayama**

神奈川県出身。東京藝術大学卒業、同大学院独唱専攻修了。卒業時にアカンサス音楽賞および同声会賞を受賞。宗教曲や歌曲を中心に演奏し、国際古楽コンクール (山梨) 最高位、スペイン国際音楽コンクール第1位など数々の入賞を果たす。古楽アンサンブル、アントネッロの声楽メンバーとして多岐に渡る活動を展開している。

加藤綾子 (ヴァイオリン) **Ayako Kato**

クラシック音楽的な身体を起点に、人々の振る舞いや制度をまなざす。ベルギー・ナミュールIMEP音楽院修士課程修了 (学年最高点)。主な作品に『アイム・ミート!』『あなたではない』など。かながわパフォーマンスアワード2026「MVP賞」受賞。高松アーティスト・イン・レジデンス2026に採択。

11.1

日

《四季》へ至る1,000年の音楽の旅

公演4

古楽祭ガラ・コンサート

14:00 (開場 13:30)~16:30 高松 穴吹学園ホール (旧 高松テルサ)

出演 | アモール・セウ (中世アンサンブル) ディオニュソス・ナウ! (ポリフォニー・アンサンブル)

アン・クノッ (ヴァイオリン) 濱田芳通 (リコーダー、コルネット) 出口実祈 (ヴァイオリン)

大橋麗実 (ヴィオラ) 長谷川太郎 (ドゥルツィアン) 布施砂丘彦 (ヴィオローネ)

竹岡幸平 (チェンバロ、オルガン) 中山美紀 (ソプラノ) 柴田俊幸 (フラウト・トラヴェルソ、リコーダー、芸術監督)

一般4,000円

曲目 | **アモール・セウ**

マルティン・コダックス: 《友愛の歌》より「どれほどご存じでしょう」

アルフォンソ10世編: 《聖母マリアのカンティガ集》より「聖なるマリアは常に真実の理を示される」

即興演奏 ほか

ディオニュソス・ナウ! ~ 1550年頃のヴェネツィアの音楽

ジョスカン・デ・プレ: 美しき人よ、あなたの愛ゆえに

チブリアーノ・デ・ローレ: ミサ《万物の連なりを超えて》より

アドリアーン・ヴィラルルト: どう思いますか、私の魂よ?

ジョヴァンニ・ピエルルイーギ・ダ・パレストリーナ: 鹿が谷川の流を慕いあえぐように

グレゴリオ聖歌 ほか

うめー組の音楽隊 (たかまつ国際古楽祭祝祭アンサンブル)

ピアージョ・マリニーニ: 逃げよ、悲しき心よ

アントニオ・ヴィヴァルディ: トリオ・ソナタ ニ短調 作品1 第12番 RV 63《ラ・フォリア》

ダリオ・カステッロ: 《現代的なソナタ・コンチェルターテ》第2巻 より ソナタ第10番

マルコ・ウッチェリーニ: 《エメنفロディート (両性具有者)》作品3 第28番

クラウディオ・モンテヴェルディ: 神をほめたたえよ

ニコラ・ボルボラ: フルート協奏曲 ニ長調

アントニオ・ヴィヴァルディ: リコーダー協奏曲 ハ長調 RV 443 より 第2楽章 ラルゴ

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル: オラトリオ《快活の人、沈思の人、温和の人》より「甘き小鳥よ」ほか

TICKET: [自由席] 前売5,000円 (当日5,500円)

20歳以下無料 ※当日、年齢のわかる身分証をお持ちください。 ※数に限りがあります。

[指定席] プレミアムシート7,000円 (枚数限定/ Petixのみ受付)



公演5

アイム・ミート! in 高松

18:30 (開場 18:00)~19:30 高松 PINEAPPLE HOUSE

出演 | 加藤綾子 (ヴァイオリン)

TICKET: 3,000円

11.2

月

公演6

公開マスタークラス

10:30~12:00 高松 サンポートホール高松 第2・第3リハーサル室

講師 | 濱田芳通 (リコーダー)、中山美紀 (ソプラノ)

濱田芳通 マスタークラス: 45分×2枠 中山美紀 マスタークラス: 45分×2枠

TICKET: [受講料] 各10,000円

[聴講料] ガラ・コンサート来場者は無料 一般1,000円

11.2

月

公演7

現代アートの島が中世にタイムスリップ!

島古楽! in 直島

15:00 (開場 14:30)~15:45 直島 直島ホール (直島町民会館) ※直島小学校へのアウトリーチ事業

出演 | アモール・セウ (中世アンサンブル)

曲目 | ユハ・T・コスキネン: 叡智の泉 Fons sapientiae【世界初演】

マルティン・コダックス: 《友愛の歌》より「どれほどご存じでしょう」

ヨハネス・チコーニア: ヴェネツィア、世界の輝き

フランチェスコ・ランディーニ: 「私の甘きため息」「愛しきわが女 (ひと)」《モンペリエ写本》より「愛はなしうる」

バルトロメオ・ダ・パドヴァ: 甘美な夕べ ほか

TICKET: 一般3,000円 高校生以下無料



昨年の公演の様子